

# 衆議院農林水産委員会ニュース

【第211回国会】令和5年3月29日（水）、第5回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・野村農林水産大臣、野中農林水産副大臣、伊藤文部科学大臣政務官、角田農林水産大臣政務官、古川国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）長友慎治君（国民）、仁木博文君（有志）、稲津久君（公明）、篠原孝君（立憲）、池畑浩太郎君（維新）、掘井健智君（維新）、細田健一君（自民）、田村貴昭君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 長友慎治君（国民）

木質バイオマス燃料関係

- ア 木質バイオマス発電用燃料の供給状況
- イ 安定供給のための施策の現状
- ウ 違法伐採木材由来の輸入バイオマス燃料の有無
- エ 国内の未利用木質資源を木質バイオマス発電に効率的に供給する体制の必要性

### 仁木博文君（有志）

- （1） 学校給食関係
  - ア 国産食材の使用の取組
  - イ 食材費上昇に対する対策
- （2） みどりの食料システム戦略の推進における広報及び伴走支援の必要性
- （3） 農地の利活用に関する農林水産大臣の見解

### 稲津久君（公明）

- （1） 3月28日閣議決定の物価高克服に向けた追加策としての予備費使用についての農林水産大臣の見解
- （2） 国産チーズの生産振興関係
  - ア チーズ向け生乳の内外価格差の要因及び解消のための方策
  - イ 消費拡大に向けた取組の必要性
- （3） 国産小麦の需要拡大関係
  - ア 国内産食料用小麦の流通量が減少している理由及び国産小麦の生産振興対策
  - イ 多収品種のパン用小麦の品種改良に対する農林水産大臣の認識
- （4） サンマの国際的な資源管理における我が国の取るべき立場

### 篠原孝君（立憲）

- （1） 養父市におけるオリックスの農業事業全面撤退に関する農林水産大臣の見解
- （2） 平成30（2018）年の漁業法改正関係
  - ア 臨時国会に提出した理由
  - イ 漁業権の免許における法定優先順位の廃止を農業と比較しての農林水産大臣の見解
  - ウ 改正漁業法における地元優先の考え方の有無
  - エ 漁業権を免許すべき者の決定において漁場の適切かつ有効な活用を基準とすることの問題点
- （3） 河川敷を活用した粗飼料作物の生産関係

- ア 国土交通省の取組状況
- イ 農林水産省から国土交通省に要望する必要性

**池畑浩太郎君（維新）**

農業大学校関係

- ア 有機農業の専攻科数及び学習機会増加の現状
- イ 有機農業指導員を外部講師として活用する必要性及び有機農業指導員の選抜基準
- ウ 農業大学校における有機農業教育の在り方及び専門職大学校への移行についての認識
- エ 女性に配慮した施設整備の必要性

**掘井健智君（維新）**

農福連携関係

- ア 農業委員会等に対しガイドラインを示す必要性
- イ 農作物の販路確保の支援体制
- ウ 農作物の付加価値を向上させ、工賃に反映させる仕組みの必要性
- エ いわゆる障害者雇用代行ビジネスの実態把握をする必要性

**細田健一君（自民）**

- (1) 国民が三食とも米を食べる場合におけるカロリーベースの食料自給率の上昇値
- (2) 食育を推進することの重要性
- (3) 米の輸出関係
  - ア 米と米関連商品の輸出総量の目標及び目標達成のための政策
  - イ 中国への輸出関係
    - a 輸入規制撤廃に向けた取組状況及び働きかけを行う必要性
    - b 新潟県における中国指定の精米施設及び検査施設の指定状況及び今後の見通し
- (4) 土地改良事業予算の堅持に対する農林水産大臣の決意

**田村貴昭君（共産）**

畜産・酪農緊急対策パッケージ関係

- ア 農家への直接支援の総額
- イ 補填反映後の令和4年度第4四半期における農家実負担額の第3四半期との比較
- ウ 令和5年度第1四半期における配合飼料価格高騰対策関係
  - a 新たな特例による農家実負担額の第4四半期との比較
  - b 補填額の水準
  - c 補填反映後の農家実負担額の水準
- エ チーズの内外価格差を国が補填することについての農林水産大臣の見解
- オ 生産者への支援水準を引き上げる必要性
- カ 新たに設置される生産者と乳業メーカーの協議会が乳価を引き下げる場となる可能性

- 2 合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第31号）**  
・野村農林水産大臣から趣旨の説明を聴取しました。